

第2部 種別ごとに見る事故

ここでは、日常生活における事故を「ころぶ」「落ちる」「ぶつかる」「ものがつまる等」「切る・刺さる」「はさむ・はさまれる」「やけど」「かまれる・刺さる」「おぼれる」の種別ごとに取り上げています。

令和6年中で最も多いのは「ころぶ」事故で、全体（※その他、不明を除く）の7割以上となっています（図2-1）。

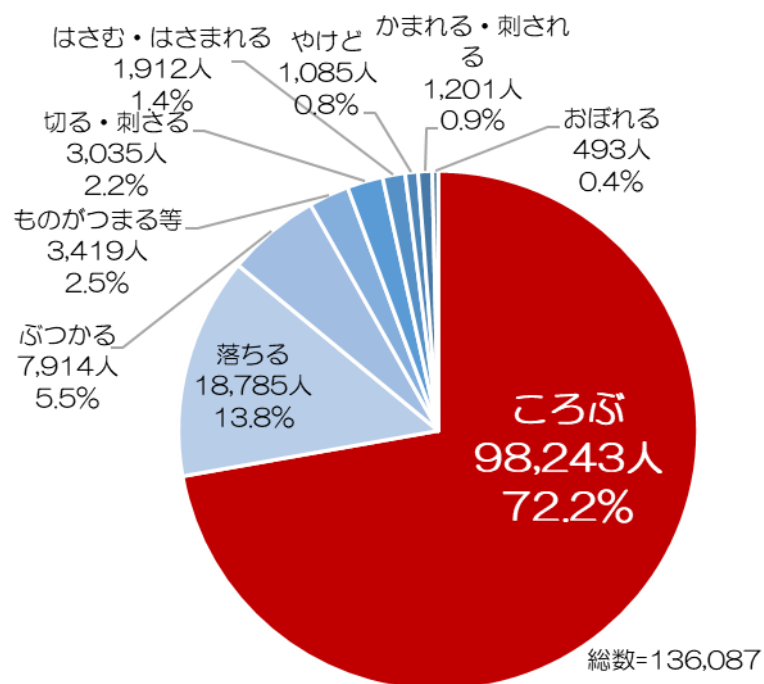


図2-1 事故の種類別構成割合（その他、不明を除く）

<高齢者>

- ・高齢になるにつれてころぶ事故とものがつまる事故の割合が増えています(図2-2、図2-3)。

<乳幼児>

- ・ものが詰まったり、ものを誤って飲み込む事故の割合が多くなっています(図2-3)。
- ・やけどの割合も多くなっています(図2-3)。

<10代>

- ・ぶつかる事故の割合が多くなっています(図2-3)。

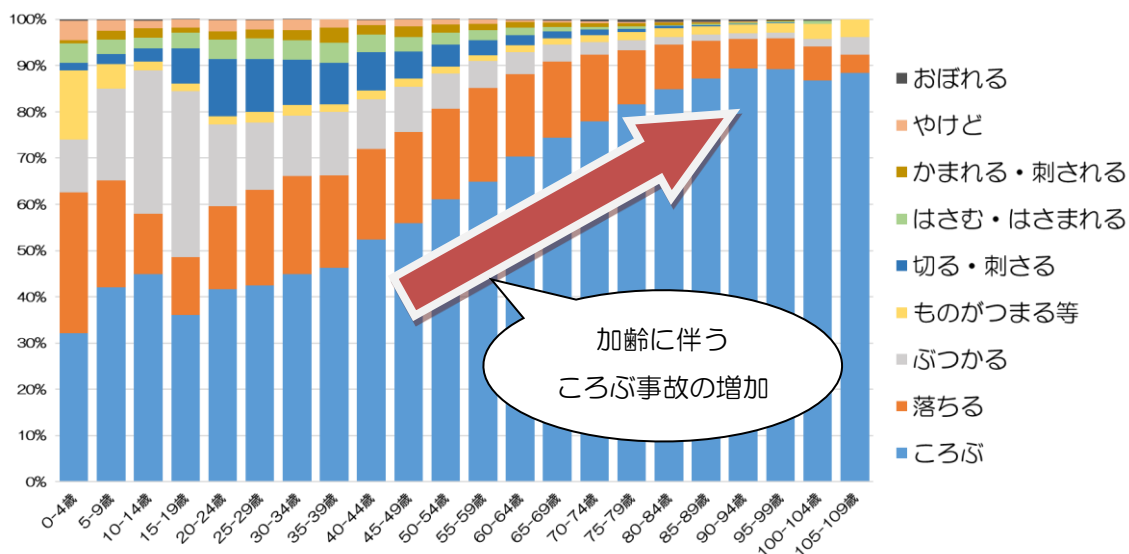


図2-2 年齢別の事故の種類別構成割合(その他、不明を除く)

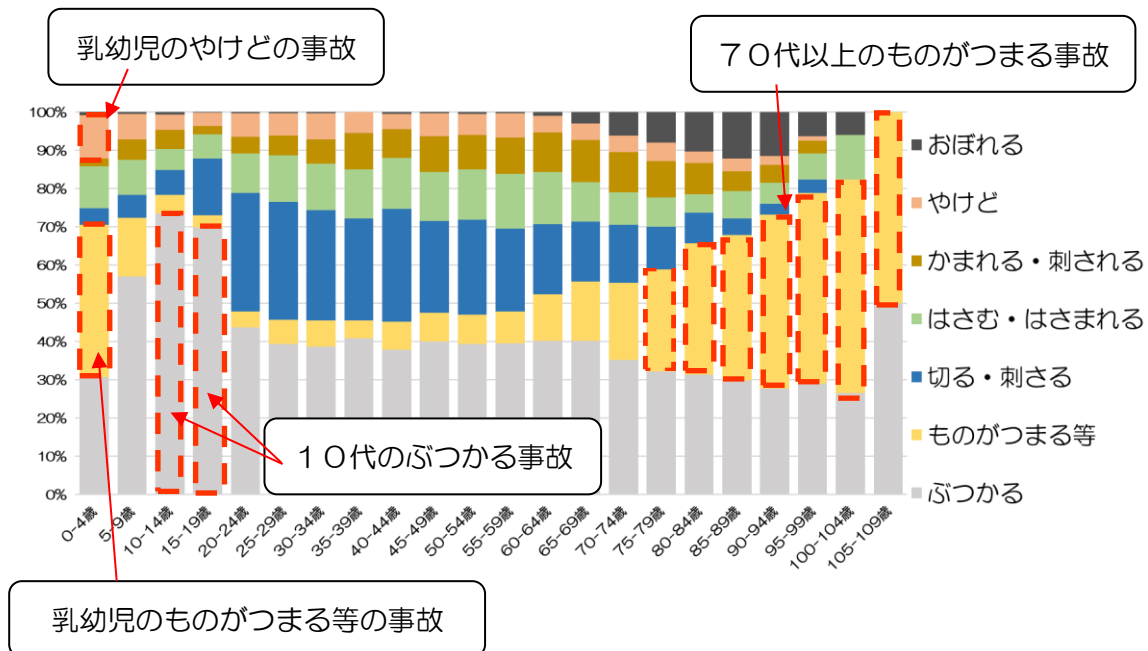


図2-3 年齢別の事故の種類別構成割合(ころぶ、落ちる、その他、不明を除く)

1. ころぶ

(1) 年別搬送人員

「ころぶ」事故は日常生活における事故の中で最も多く、搬送人員数の推移が事故全体の搬送人員の推移に近いものになっています。

令和6年中は**98,243**人が救急搬送されています（図2-4）。

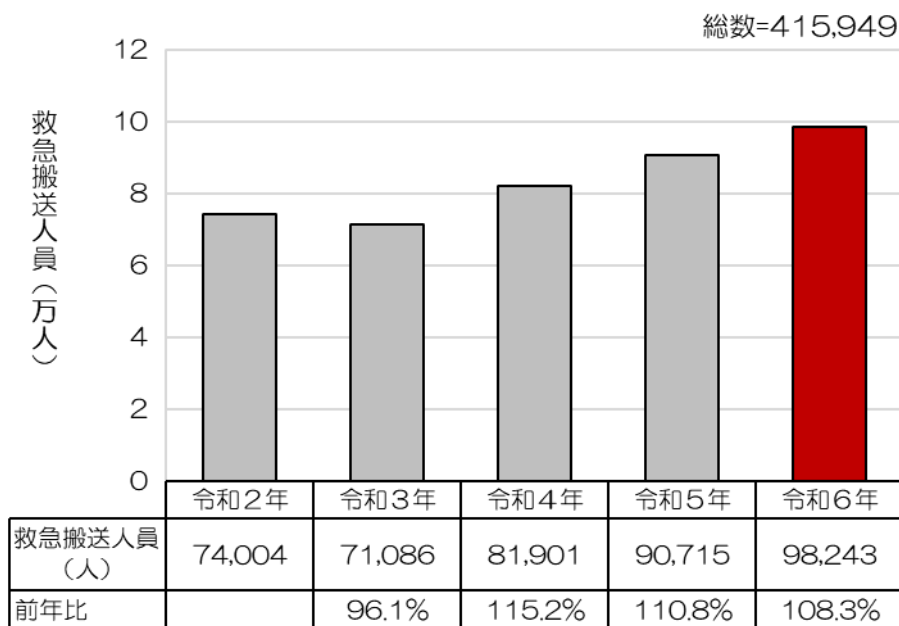


図2-4 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、**高齢者**が多く救急搬送されています。特に70歳を越えると急激に増加していきます（図2-5）。

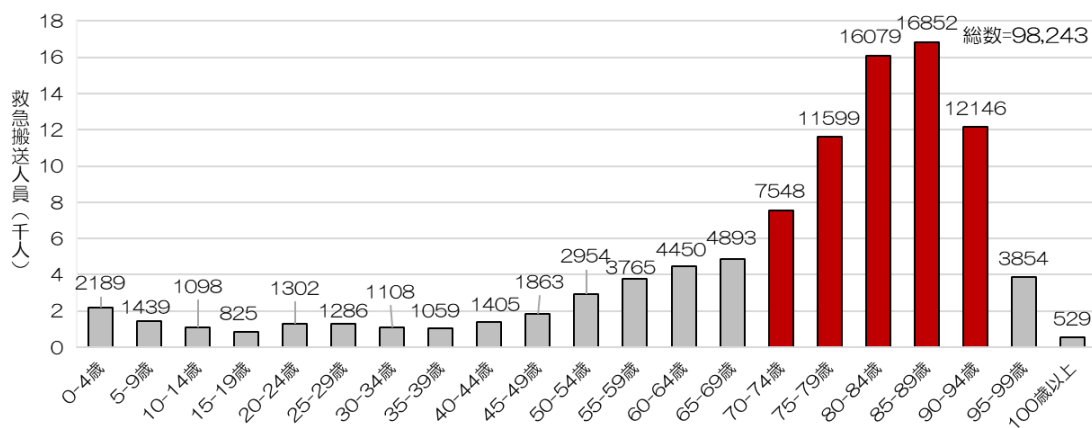


図2-5 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く、次いで道路・交通施設となっています（図 2-6）。

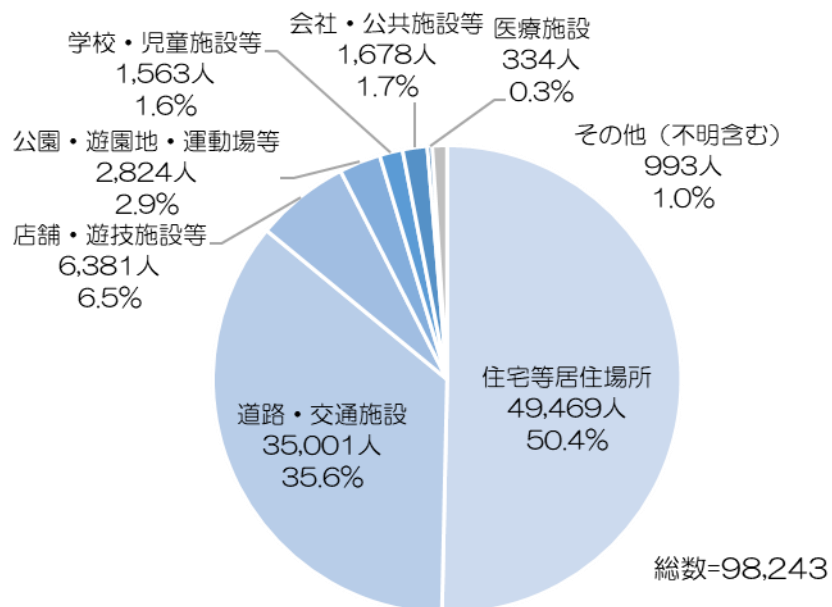


図 2-6 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

3割以上が入院を要する中等症以上と診断されています（図 2-7）。

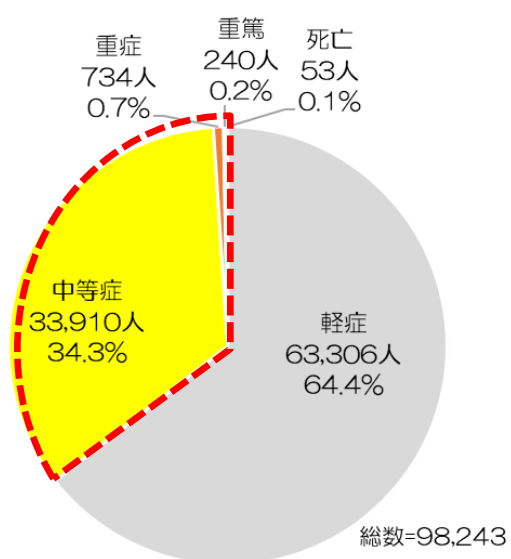


図 2-7 初診時程度別の救急搬送人員

2. 落ちる

(1) 年別搬送人員

階段や脚立などから「落ちる」事故で、令和6年中に**18,785人**が救急搬送されています（図2-8）。

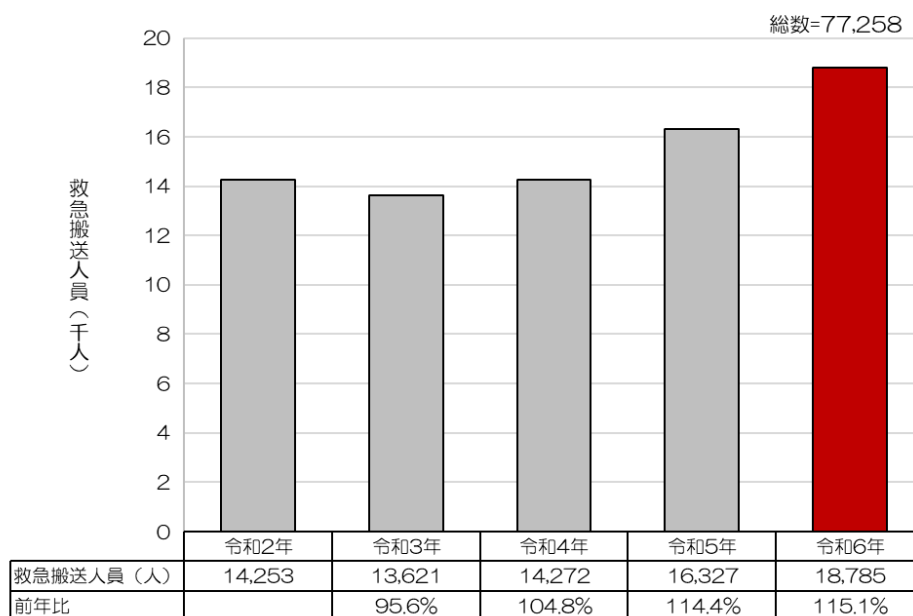


図2-8 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、**0歳から4歳まで**が突出して多く、**2,066人**が救急搬送されています（図2-9）。

ベッド等から落ちる事故や、人に抱かれていて落ちる事故も多く発生しています。

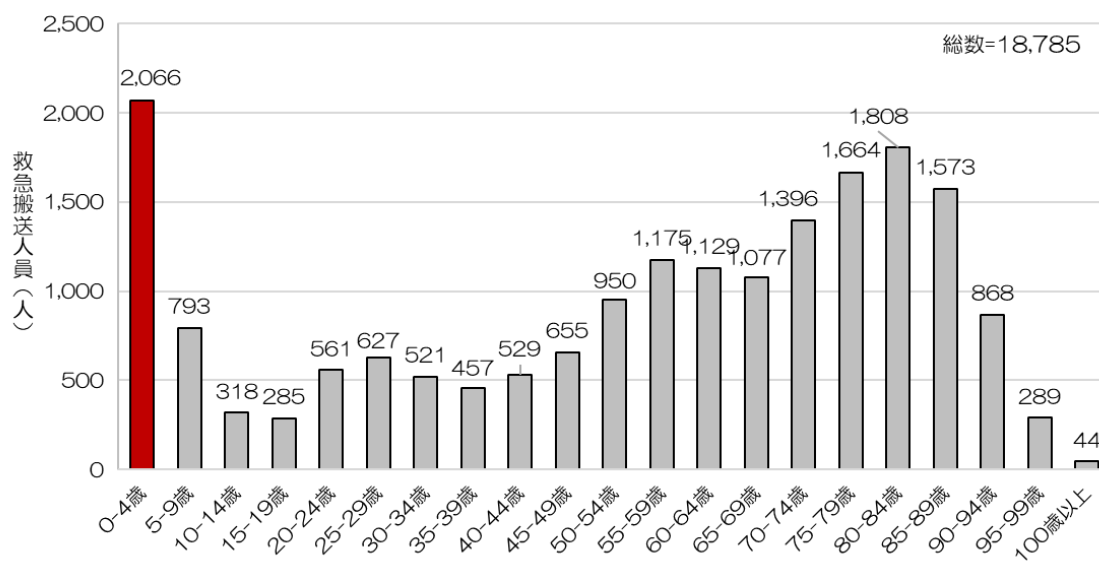


図2-9 年齢層別の救急搬送人

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多く約 6 割となっています。

次いで、道路・交通施設、店舗・遊技施設等で多く発生しています（図 2－10）。

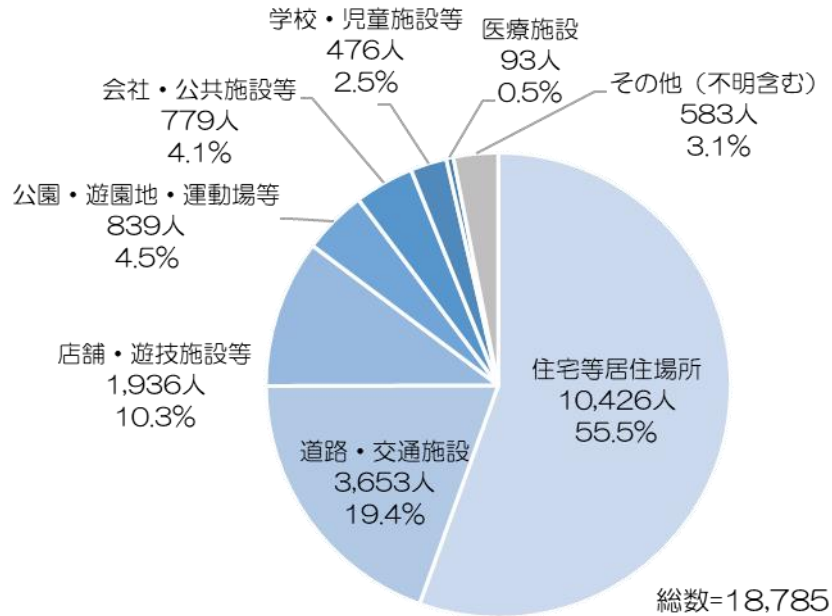


図 2－10 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

「ころぶ」事故と同様に 3 割以上が中等症以上と診断されています（図 2－11）。

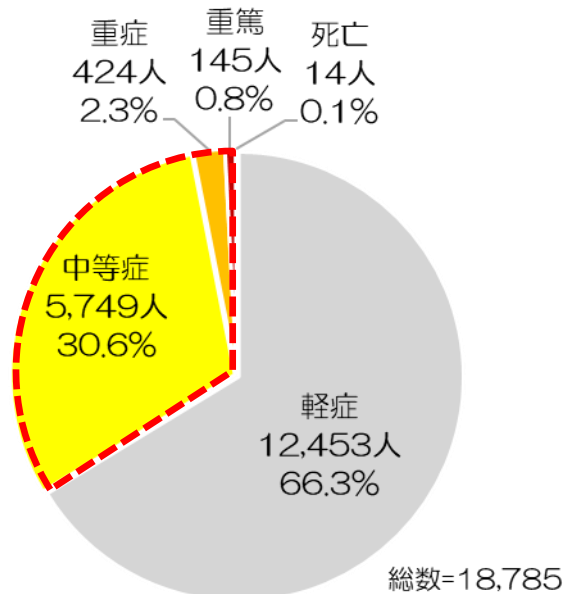


図 2－11 初診時程度別の救急搬送人員

3. ぶつかる

(1) 年別搬送人員

飛んできたボールや走っていて人やものに「ぶつかる」事故で、令和6年中に7,914人が救急搬送されています（図2-12）。

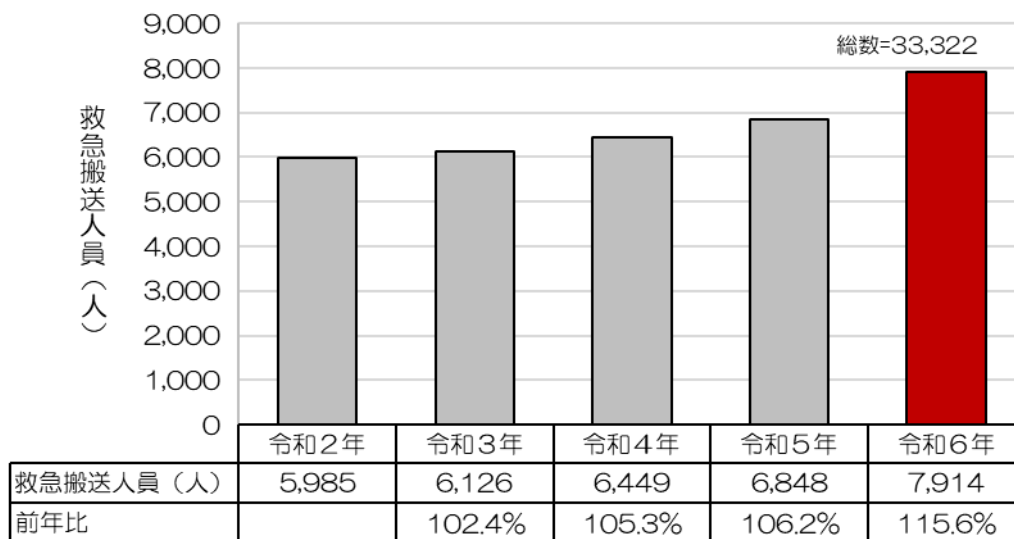


図2-12 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層別（5歳単位）では、10代以下で多くなっています。
加齢とともに減少する傾向が見られます（図2-13）。

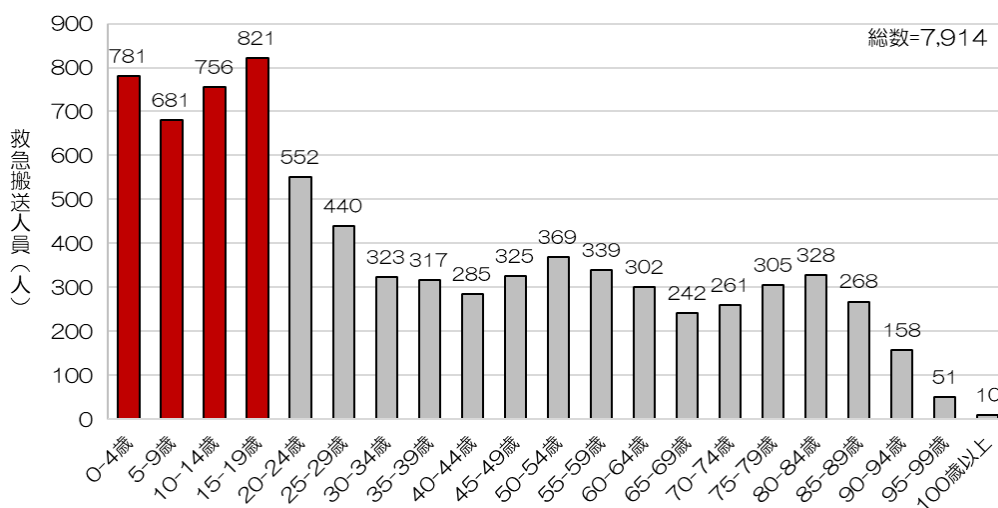


図2-13 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

発生場所別では、住宅等居住場所が最も多くなっています。

次いで公園・遊園地・運動場等や道路・交通施設での事故が多く発生しています（図 2-14）。

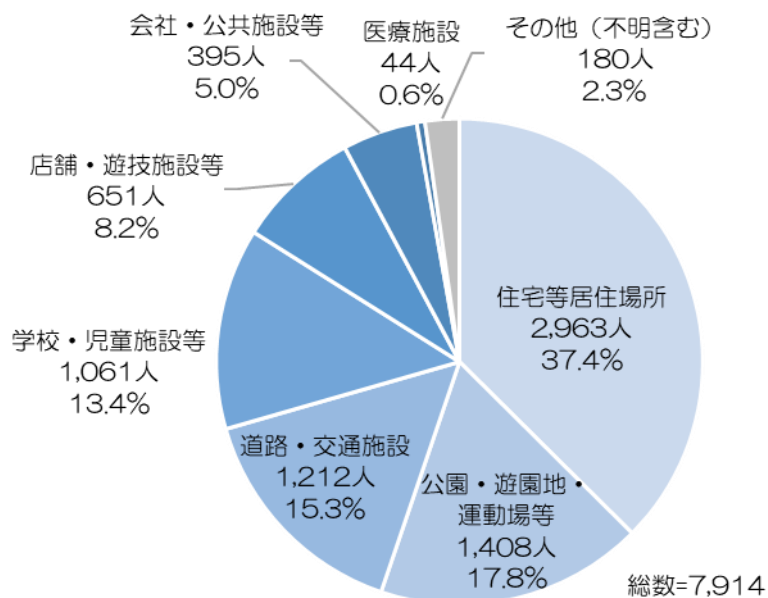


図 2-14 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

初診時程度別では、全体の8割以上が軽症ですが、重症や重篤と診断される事故も発生しています（図 2-15）。

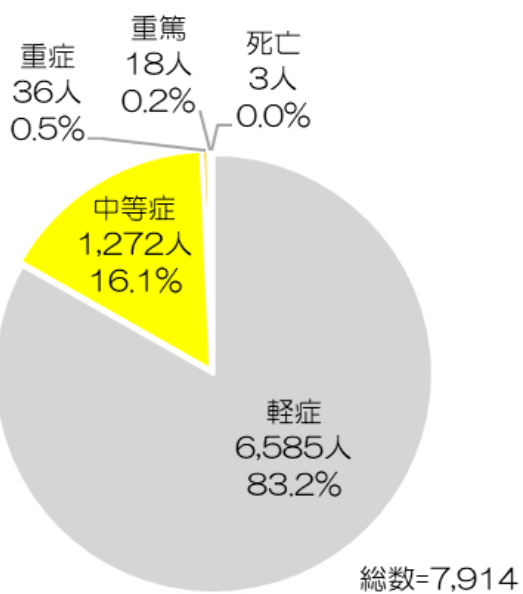


図 2-15 初診時程度別の救急搬送人員

4. ものがつまる等

(1) 年別搬送人員

食べ物を喉につまらせたり、たばこや玩具などを飲み込んでしまう事故により、令和6年中は**3,419**人が救急搬送されています（図2-16）。

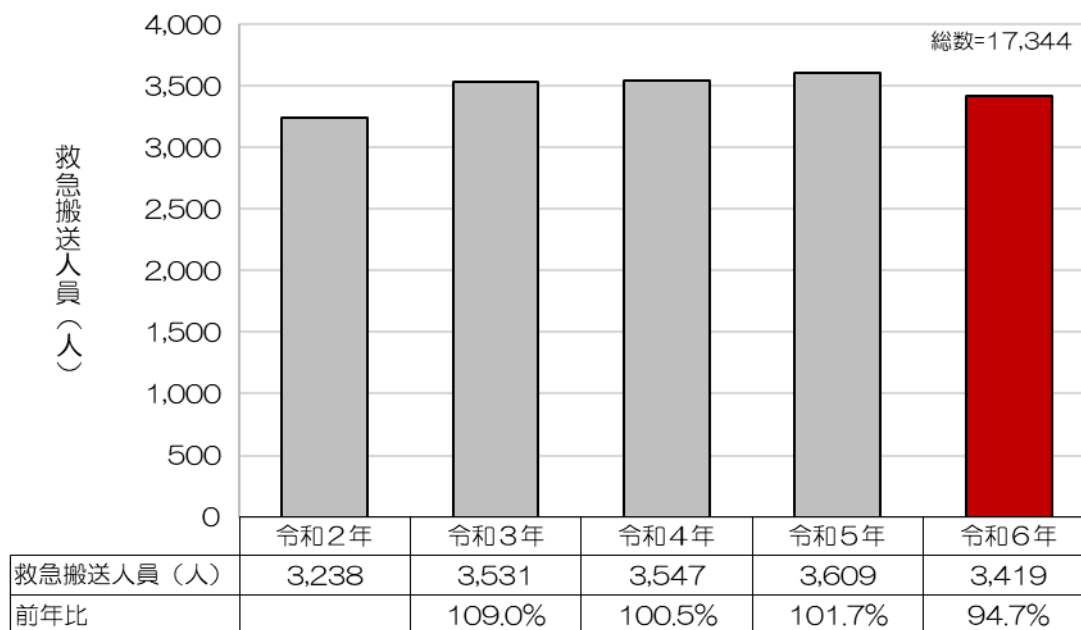


図2-16 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く、**1,019**人が救急搬送されています（図2-17）。

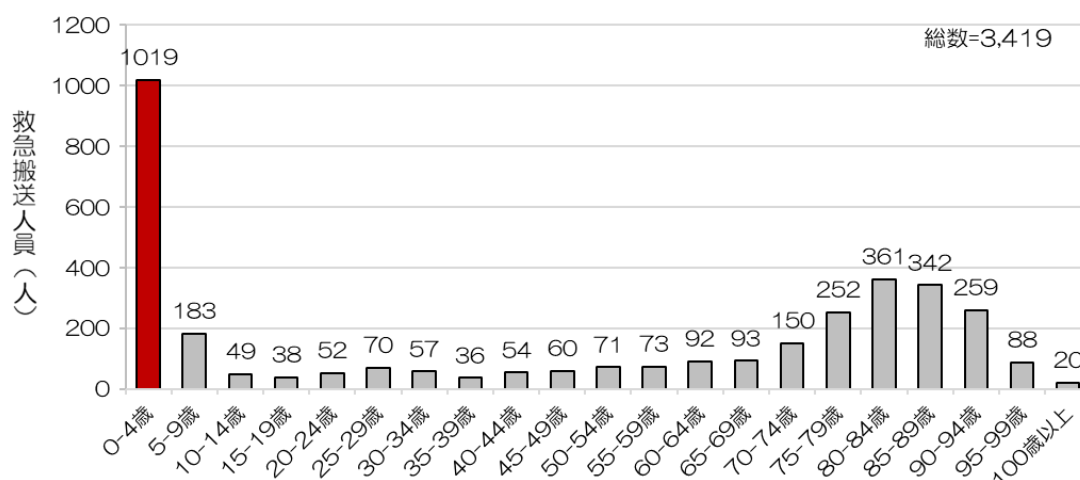


図2-17 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が約9割と最も多くなっています（図2-18）。

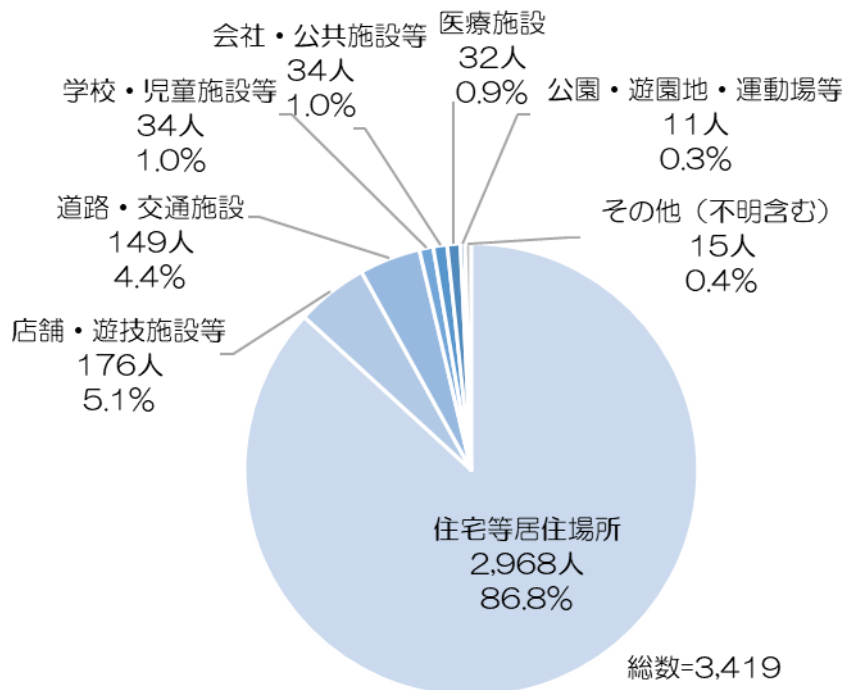


図2-18 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

3割以上が中等症以上と診断されています。

「ころぶ」、「落ちる」事故よりも重篤・死亡の割合が多くなっています（図2-19）。

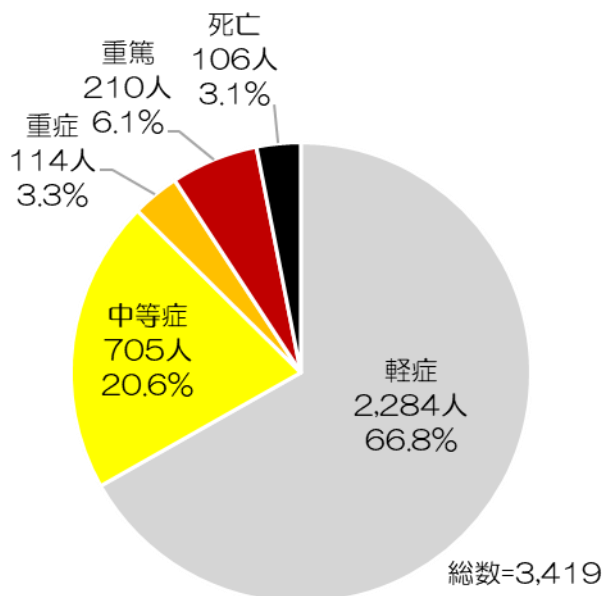


図2-19 初診時程度別の救急搬送人員

5. 切る・刺さる

(1) 年別搬送人員

刃物で切ったり、何かが刺さったりする事故で、令和6年中に**3,035人**が救急搬送されています（図2-20）。

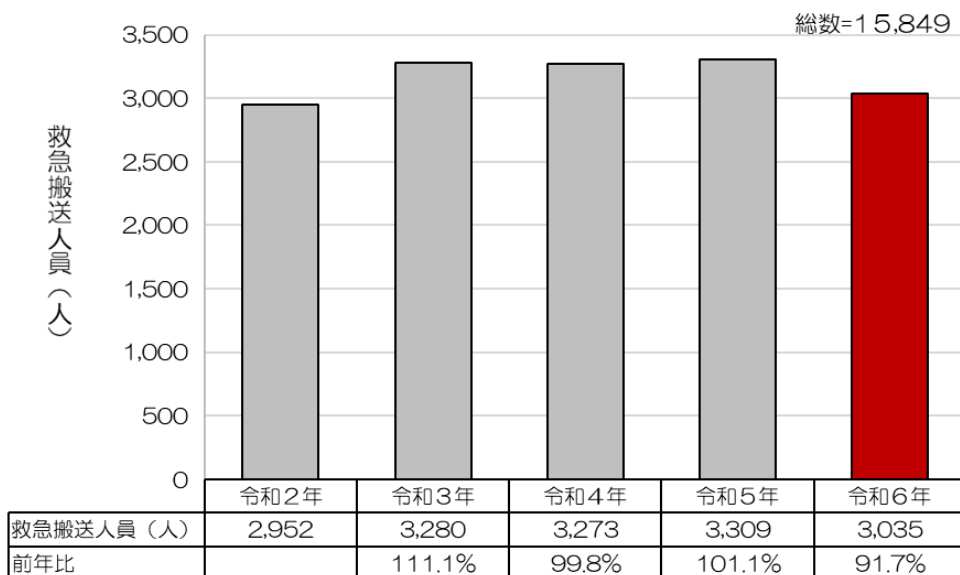


図2-20 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、**20代**が多くなっています（図2-21）。

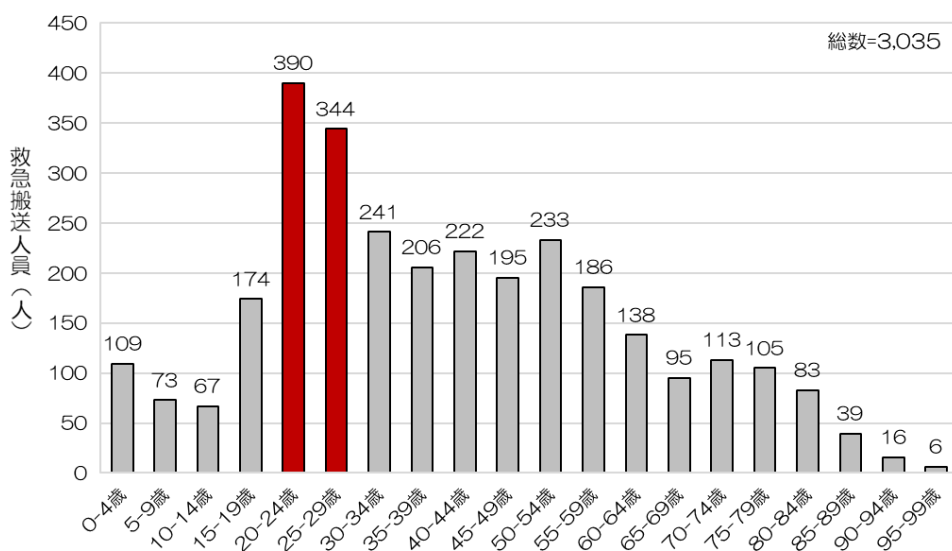


図2-21 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が最も多く6割以上を占めています。

次いで店舗・遊技施設等、会社・公共施設等が多くなっています（図 2－22）。

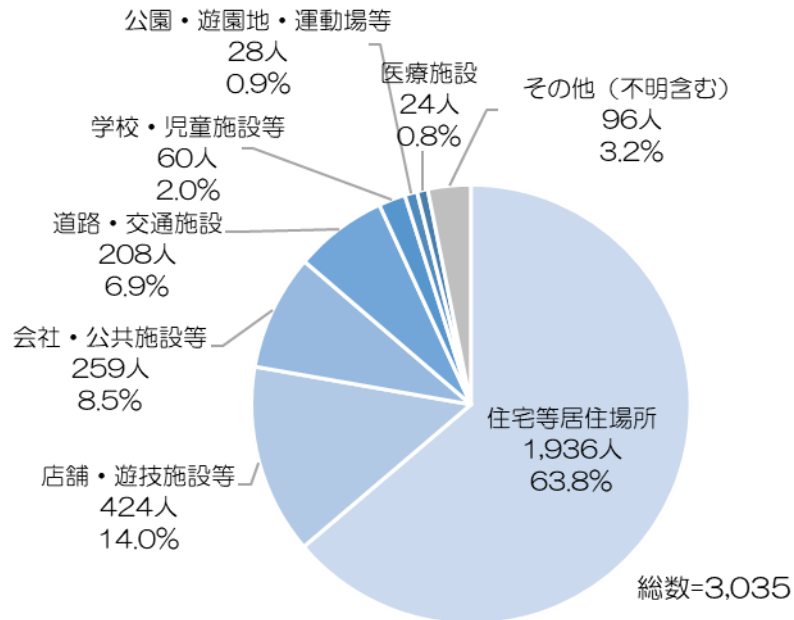


図 2－22 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

全体の8割以上が軽症ですが、重症や重篤、死亡と診断される事故も発生しています（図2－23）。

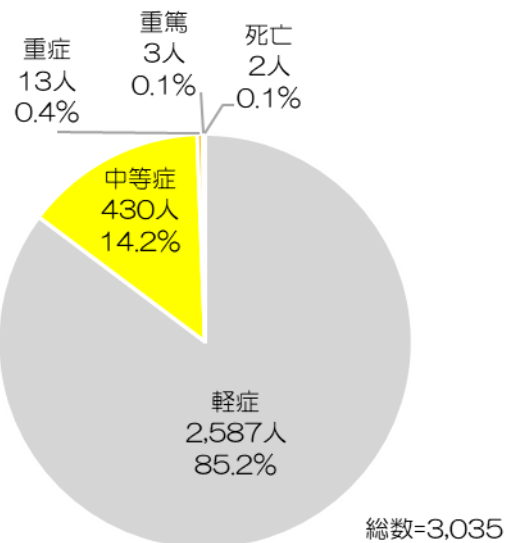


図 2－23 初診時程度別の救急搬送人員

6. はさむ・はさまれる

(1) 年別搬送人員

ドアや機械、鉄道車両の戸袋などにはさまれたり巻き込まれたりする事故で、令和6年中に1,912人が救急搬送されています（図2-24）。

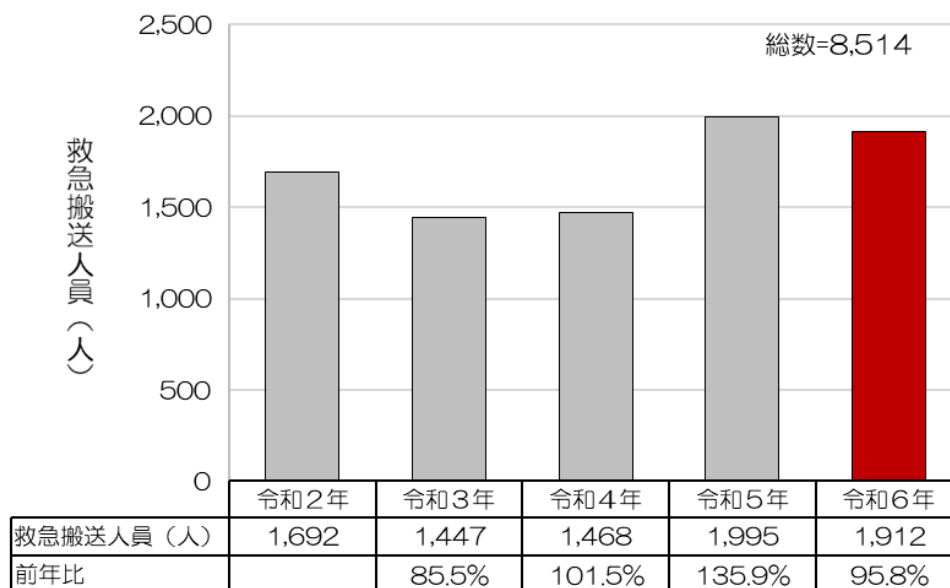


図2-24 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く283人が救急搬送されています（図2-25）。

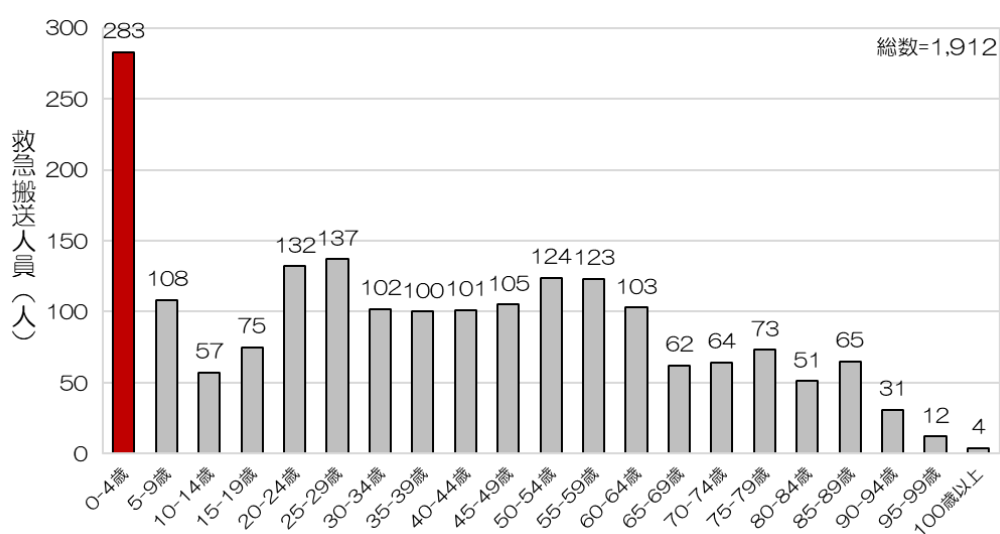


図2-25 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が3割以上と最も多くなっています。

次いで会社・公共施設等や道路・交通施設でも多く発生しています(図2-26)。

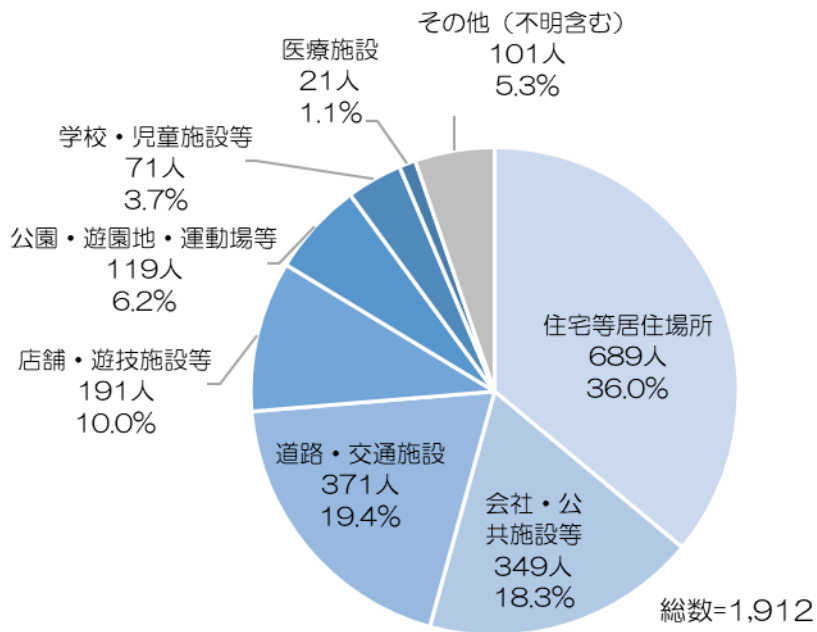


図2-26 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

約3割の方が中等症以上と診断されています(図2-27)。

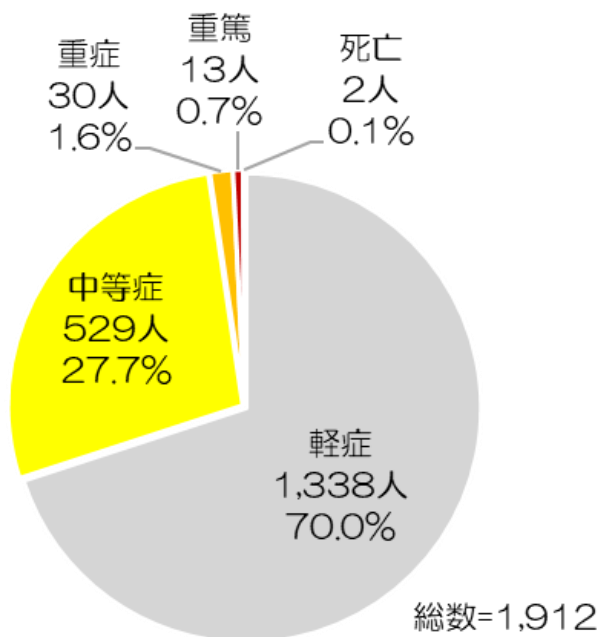


図2-27 初診時程度別の救急搬送人員

7. やけど

(1) 年別搬送人員

熱湯や天ぷら油等によるやけどで、令和6年中に1,085人が救急搬送されます（図2-28）。

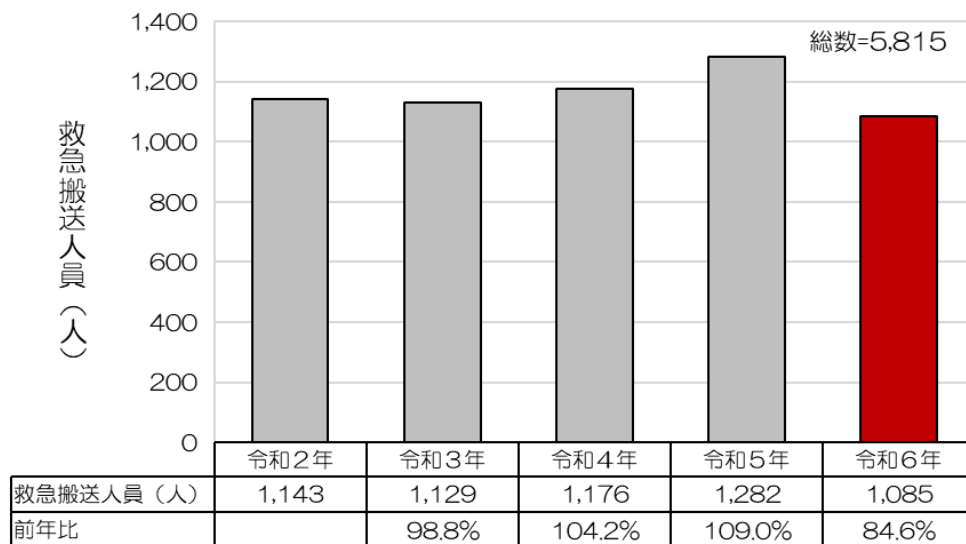


図2-28 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、0歳から4歳までが最も多く、287人が救急搬送され、全体の約3割を占めています（図2-29）。

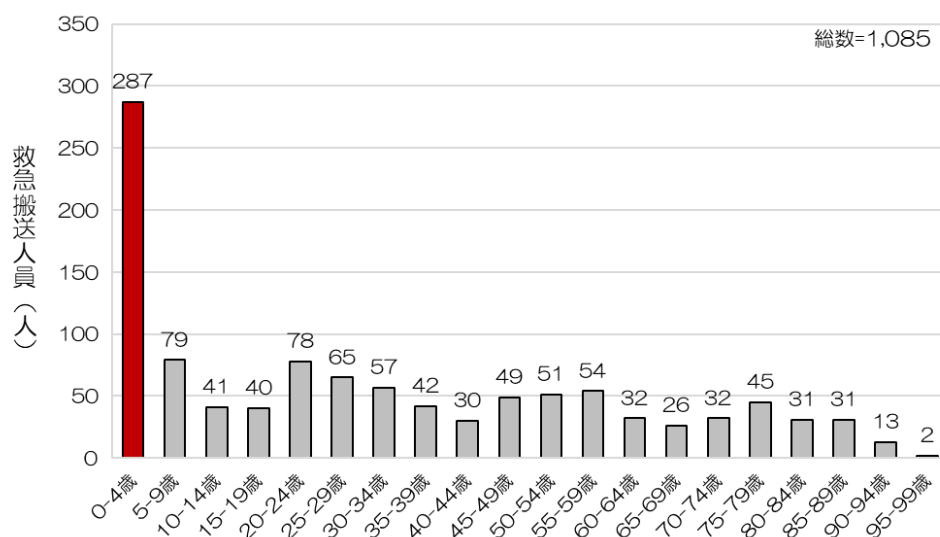


図2-29 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所の割合が最も多く、約8割となっています（図2-30）。

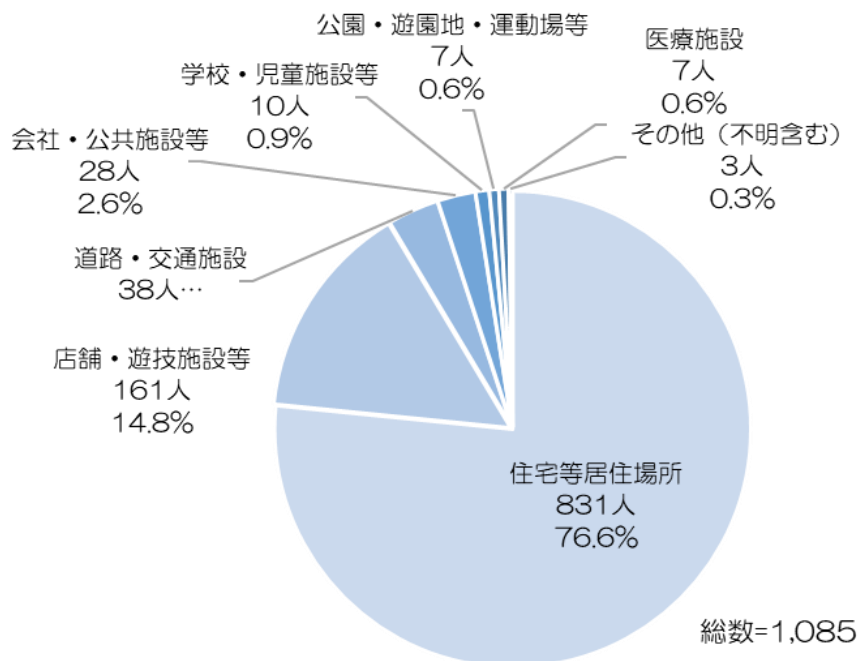


図2-30 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

約2割の方が中等症以上と診断されています（図2-31）。

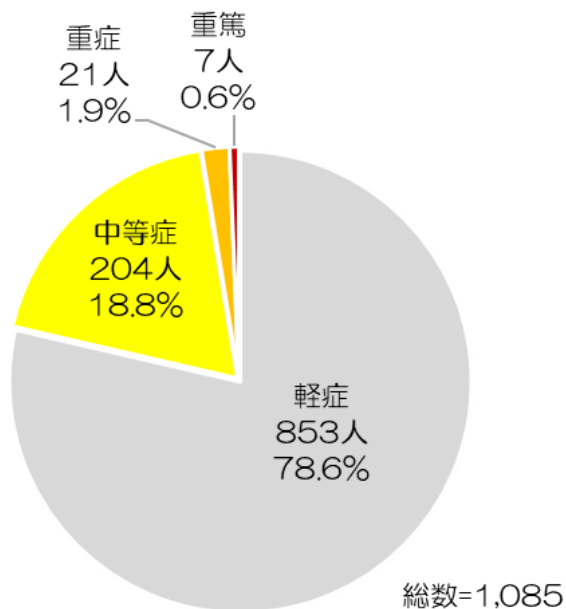
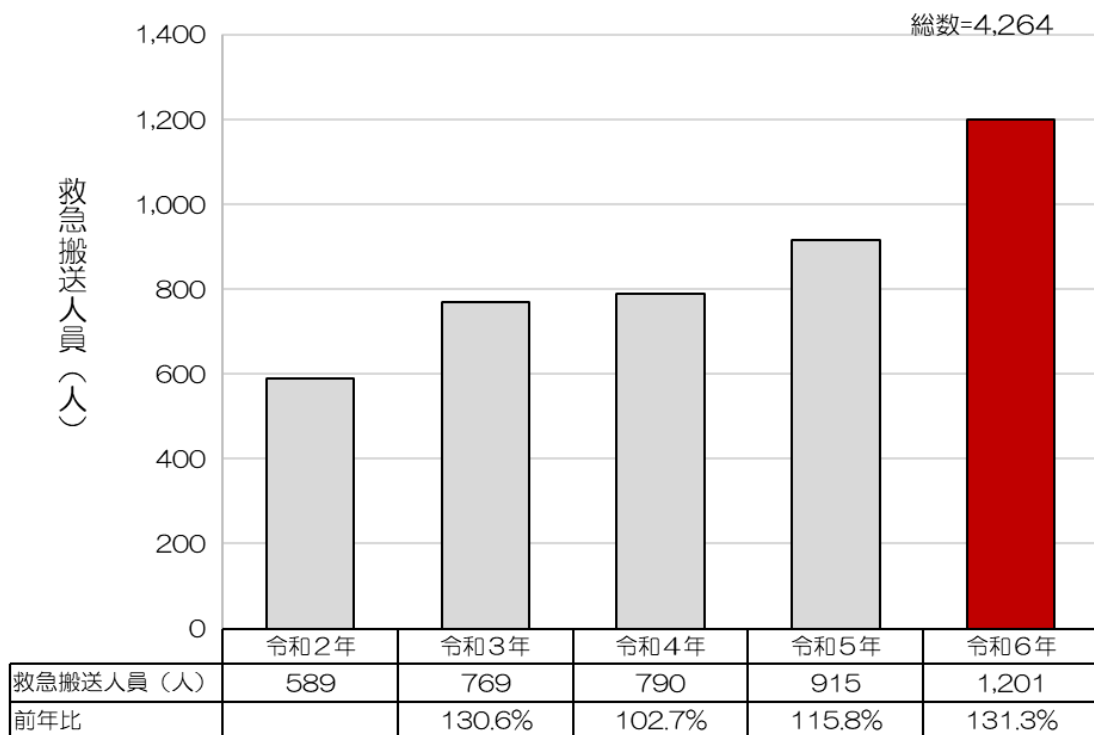


図2-31 初診時程度別の救急搬送人員

8. かまれる・刺される

(1) 年別搬送人員

犬にかまれる、蜂に刺される等で、令和6年中に 1,201 人が救急搬送されます（図 2-32）。



(2) 年齢層別搬送人員 図 2-32 年別の救急搬送人員

年齢層（5歳単位）別では、幅広い年代で発生しています（図 2-33）。

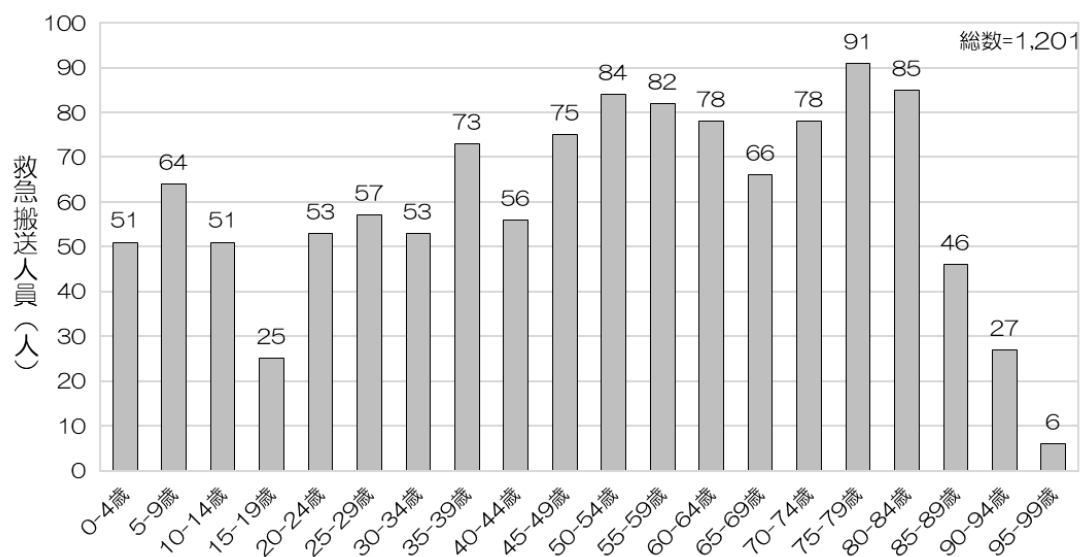


図 2-33 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が多くなっており、ペットの動物にかまれる等の事故が発生しています。

次いで道路・交通施設が多くなっています（図 2-34）。

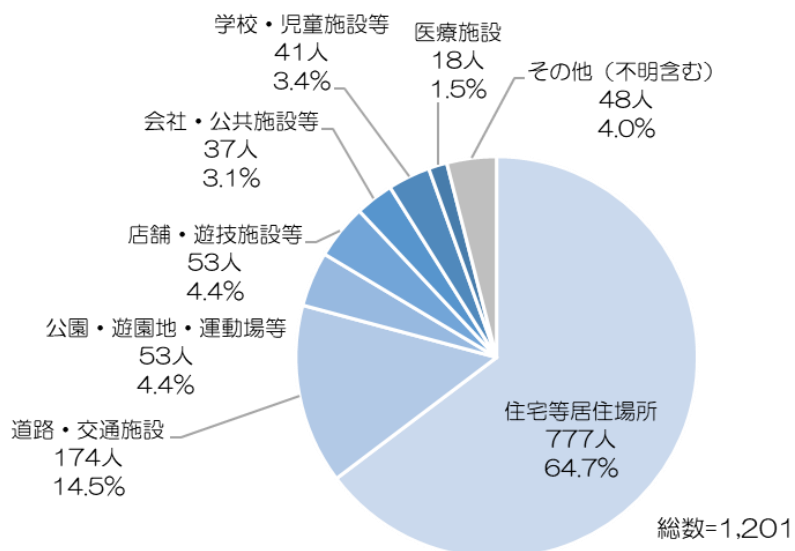


図 2-34 発生場所別の救急搬送人員

(4) 初診時程度別搬送人員

軽症が8割以上を占めていますが、中等症以上と診断される事故も発生しています（図 2-35）。

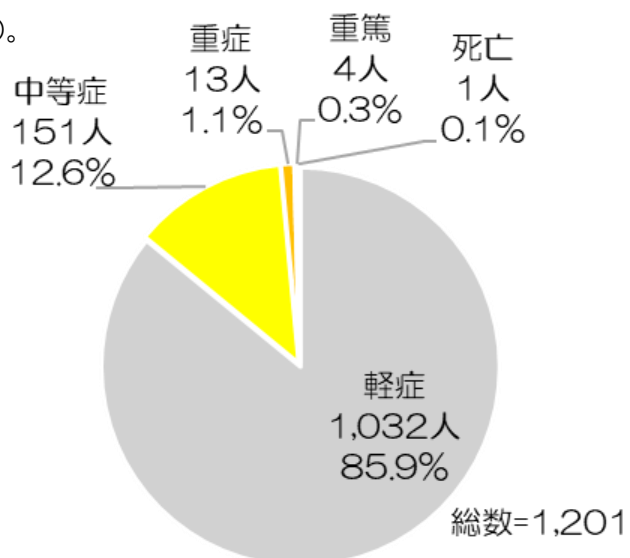


図 2-35 初診時程度別の救急搬送人員

9. おぼれる

(1) 年別搬送人員

浴槽や海、河川等での事故で、令和6年中は**493人**が救急搬送されています。
(図2-36)。

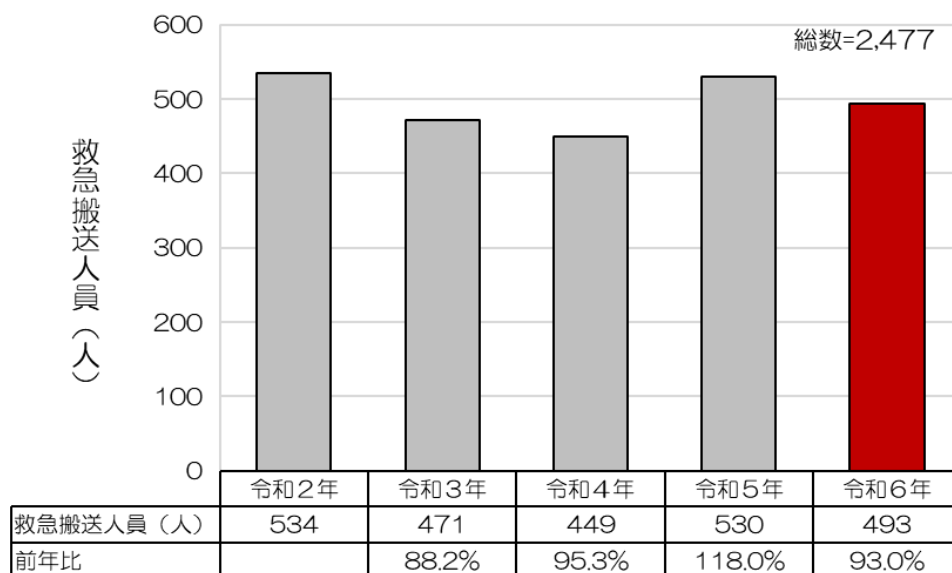


図2-36 年別の救急搬送人員

(2) 年齢層別搬送人員

年齢層(5歳単位)別では、**乳幼児**、**高齢者**に多く発生しており、特に80歳代は前半後半ともに100人以上が救急搬送されています(図2-37)。

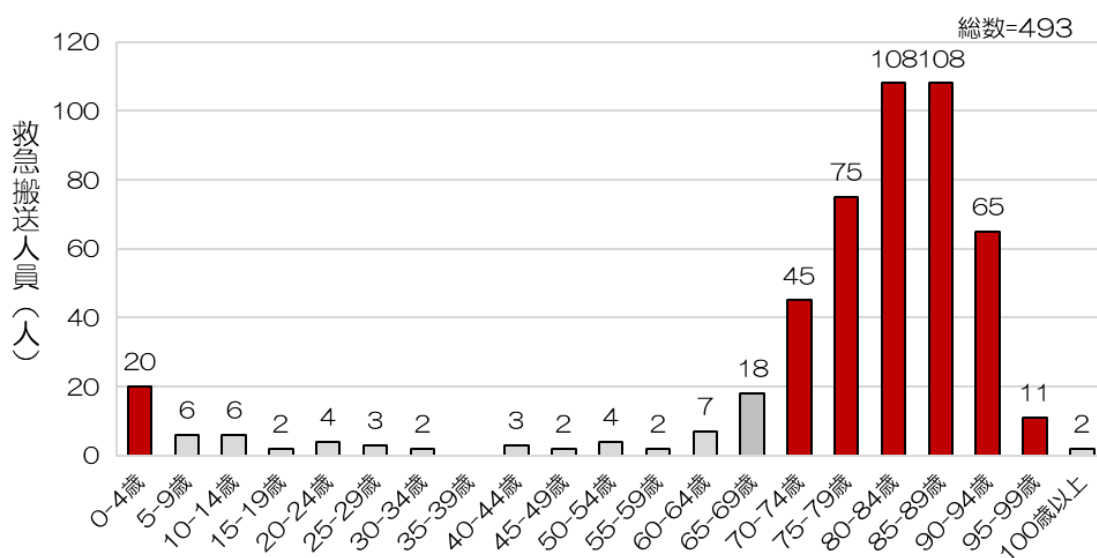


図2-37 年齢層別の救急搬送人員

(3) 発生場所別搬送人員

住宅等居住場所が約9割で最も多くなっています（図2-38）。

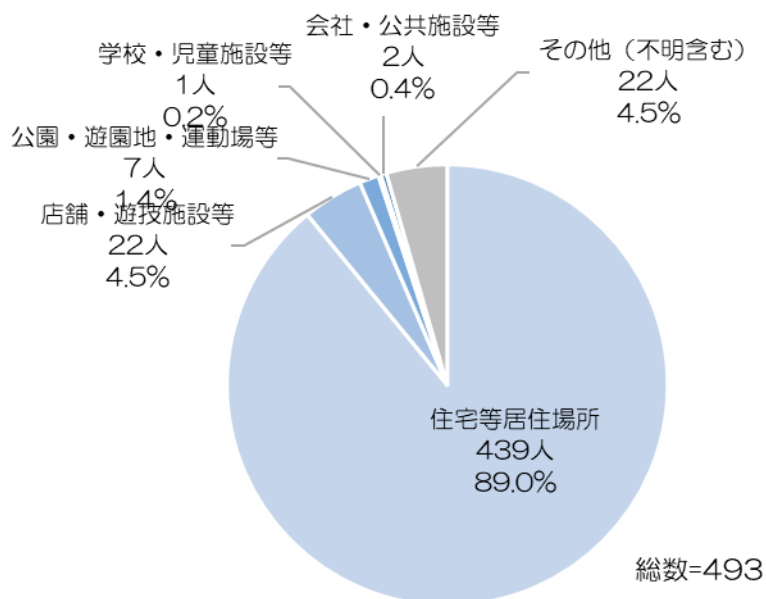


図2-38 発生場所別の救急搬送人

(4) 初診時程度別搬送人員

9割以上が中等症以上と診断されており、さらに7割以上が重篤又は死亡と診断されています（図2-39）。

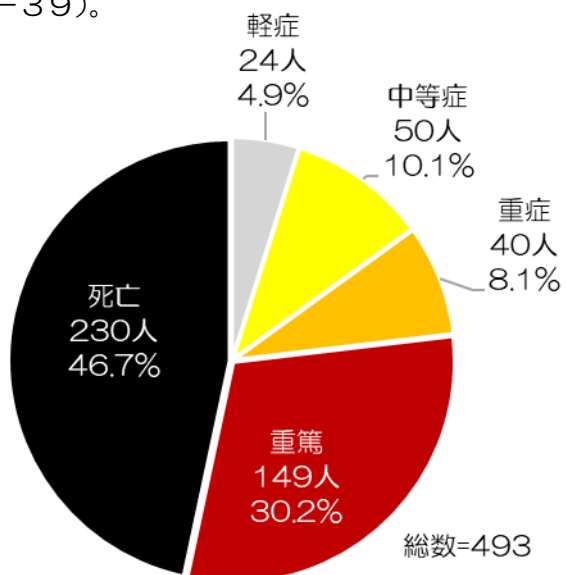


図2-39 初診時程度別の救急搬送人員